

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

**研究課題名：放射線治療症例の血液検体のメタボローム解析フロー  
確立のための後向きパイロット研究**

・はじめに

がんは日本人の死亡原因の第一位です。群馬大学ではがんに対する放射線治療をおこなっていますが、この治療へのがんの抵抗性のメカニズムの詳細はまだまだ不明です。今回、私たちは群馬大学で放射線治療を受けたがん患者さんの検体について調べ、新たな治療法・診断法の可能性を探ります。

こうした研究を行う際には、組織、血液、組織など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、治療内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法について

群馬大学医学部附属病院で放射線治療を受けた患者さんから取得された血液の余剰分を使って、微小な代謝産物（メタボライト）の量を調べます。この結果と患者さんの背景を比較し、これらのメタボライトががんの放射線治療への応答どう関わっているのか、考察します。

・研究の対象となられる方

群馬大学において「子宮頸癌の放射線治療反応性に関与する遺伝子の同定に関する研究（前向き観察研究）」への参加に令和2年3月31日までに書面で同意いただいた方のうち、1ml以上の余剰血液検体が保管されている方18名を対象といたします。対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。希望されなかった方の試料または情報は、研究には使用しません。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が2021年1月以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より2021年3月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

上述した研究対象となる患者さんの血液検体を使って、微小な代謝産物（メタボライト）の量を調べます。また臨床病期、病理組織型、診断時年齢、ヒトパピローマウィルス感染の有無、体外照射総線量、腔内照射総線量、化学療法の有無、MRIにおける診断時・放射線治療 30Gy 終了時の腫瘍最大径、放射線治療終了2年後のCTまたはMRIにおける骨盤内無再発率を研究のための情報として用います。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果はがんの解明及び新しい治療法や診断法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。また被験者となった患者さんへの謝礼はありません。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学において、個人を特定できる情報を削除し、匿名化やパスワードの策定などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた情報は群馬大学のパスワード管理されたファイルに保存され、同ファイルはハードディスクドライブに保存され、同ハードディスクドライブは腫瘍放射線学講座研究室の鍵付きの棚で永年保管されます。血液検体は全て使用するため残りません。

管理責任者：大野 達也

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射

線学の研究費や寄附金（研究助成金）をもってまかなわれます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われたいのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、群馬大学が主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

役割	氏名	所属機関名	職名
研究責任者	尾池 貴洋	附属病院放射線科	講師
研究分担者	大野 達也	医学系研究科腫瘍放射線学	教授
研究分担者	大須 直人	附属病院放射線科	医員

群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学講座

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

Tel: 027-220-8383

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

**【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】**

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学 講師

氏名：尾池 貴洋

連絡先：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

Tel: 027-220-8383

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知  
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）  
利用し、または提供する試料・情報の項目  
利用する者の範囲  
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法